

取扱説明書 兼 取り付け説明書

(Hollandia 100 300用)

- 取扱説明書 (1~12)
- 取り付け説明書 (13~32)

株式会社レアバリュージャパン

〒144-0022 東京都北区王子本町2-25-3 TEL:03-3900-2130 FAX:03-3900-7227

E-mail:info@rarevalue.com HP:<http://www.rarevalue.com>

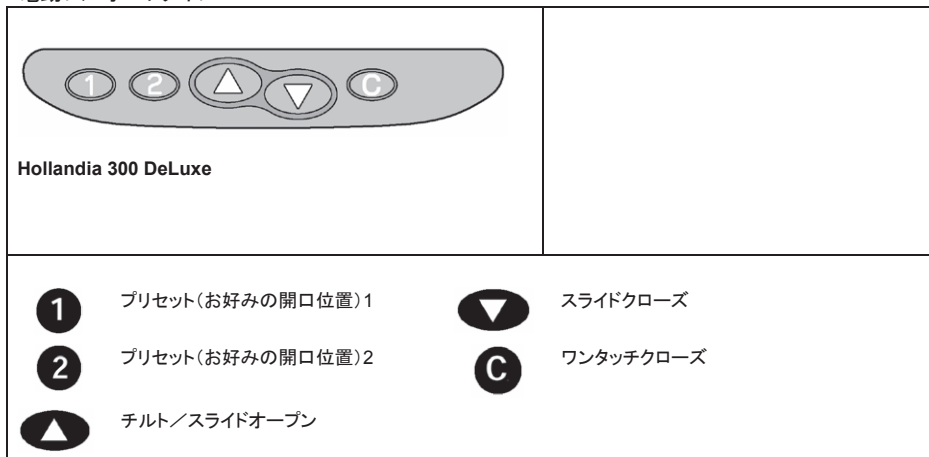


取扱説明書

サンルーフの操作方法

1. コントロールパネル(電動フルオートタイプ)

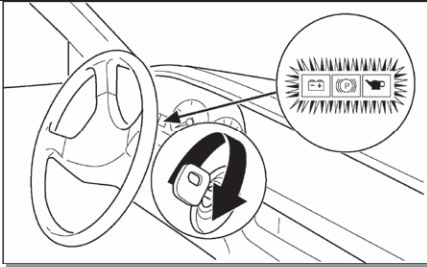
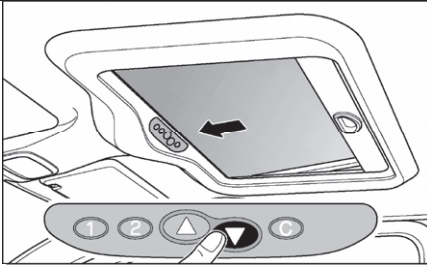
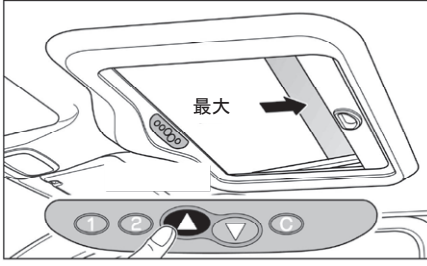
電動フルオートタイプ



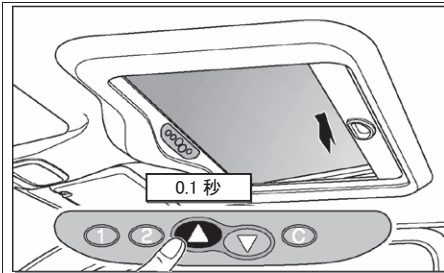
注: 本マニュアルの図は、特に説明がない限り Hollandia 300 DeLuxe Medium を用いています。
そのため図の細部については、ご購入されたサンルーフと異なる場合があります。

2. 電動フルオートタイプの操作方法

2.1. 初期設定 (装着後、初めて使用する前のサンルーフのプログラミング)

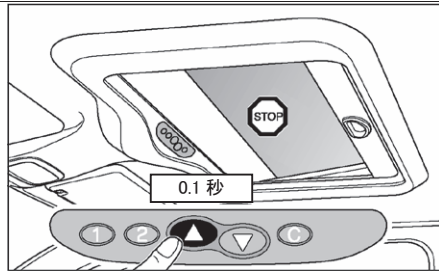
	<p>イグニッションを ON にします。</p>
	<p>サンルーフを完全に閉じ、スイッチを放し、再び▼ボタンを 5 秒間以上押します。</p>
	<p>サンルーフを完全に開けた後も▲ボタンを短時間押し続け、カチッという音がしたら停止位置です。これでサンルーフはプログラムされました。</p>

2.2. サンルーフを開く

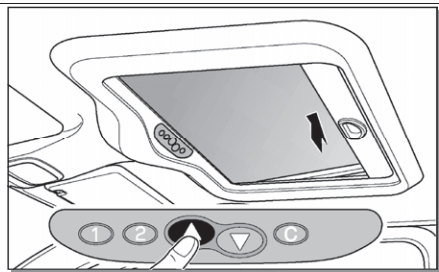


サンルーフをスライド位置まで開く

イグニッションを ON にして、▲ボタンを短時間押しします。



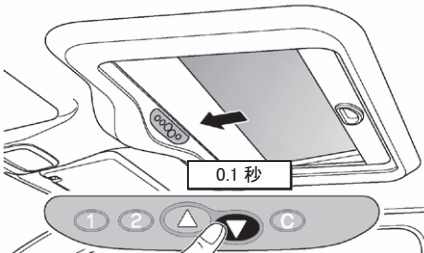
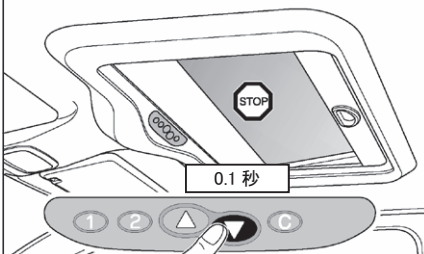
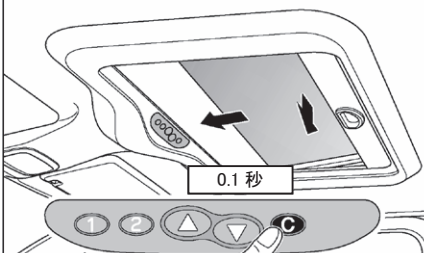
ガラスパネルが希望の位置になったら▲ボタンを再び短時間押しします。



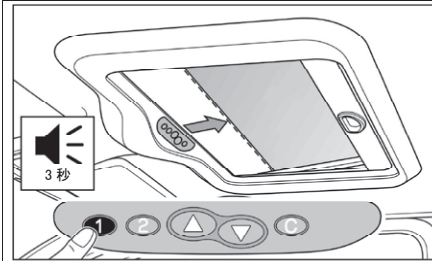
サンルーフを最大チルト位置まで開く

イグニッションを ON にして▲ボタンを押し続け、パネルが最大チルト位置になったら放します。

2.3. サンルーフを閉じる

 <p>0.1 秒</p>	<p>▼ボタンを短時間押すと、パネルが完全に閉まります。</p>
 <p>0.1 秒</p>	<p>▼ボタンを再び短時間押すと、パネルは止まります。</p>
 <p>0.1 秒</p>	<p>◎ボタンを短時間押すと、パネルはどの位置からでも閉まります。</p>

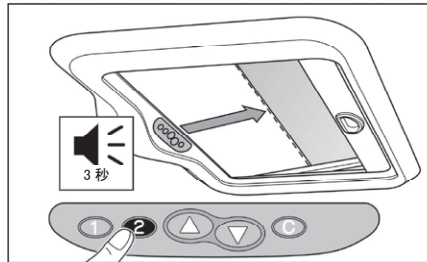
2.4. プリセット(お好みの開口位置)のプログラミング



パネルを 1 ヲ所目の好みの位置に動かします。

●ボタンを 3 秒間押し、●ボタンにこの位置を記憶させます。

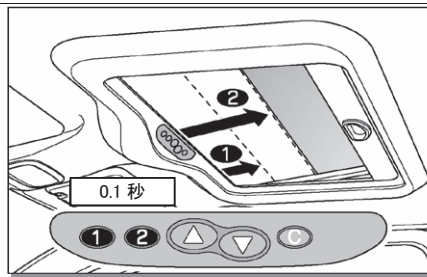
ブザー音でプログラミングが確認されます。



パネルを 2 ヲ所目の好みの位置に動かします。

●ボタンを 3 秒間押し、●ボタンにこの位置を記憶させます。

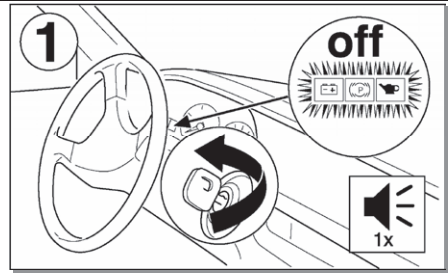
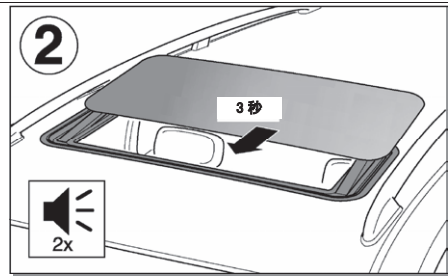
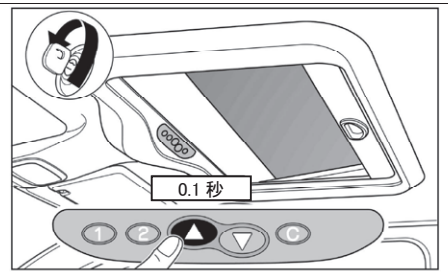
ブザー音でプログラミングが確認されます。



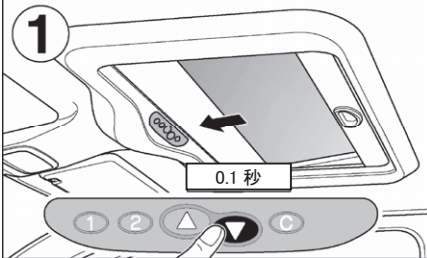
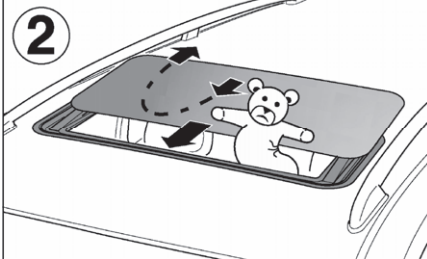
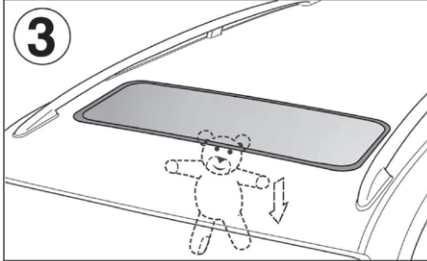

パネルを好みの位置に開くために●または●ボタンを押します。

新しくプリセット位置をプログラミングするときは、この手順を繰り返して下さい。

2.5. オートクローズ

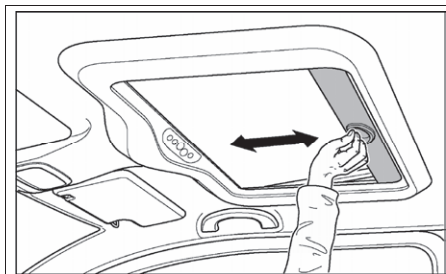
	<p>イグニッションをオフにします。 3 秒後にパネルが閉まることを知らせるためにサンルーフのブザー音が 1 回鳴ります。</p>
	<p>パネルが閉まります。ブザー音が 2 回鳴ります。</p>
	<p>ルーフが自動的に閉じないようにするには、イグニッションをオフにした後 3 秒以内に▲ボタンを短時間押しします。 天候の急変や盗難防止のため、車から離れる際はサンルーフを完全に閉めて下さい。</p>

2.6. 挟み込み防止機能

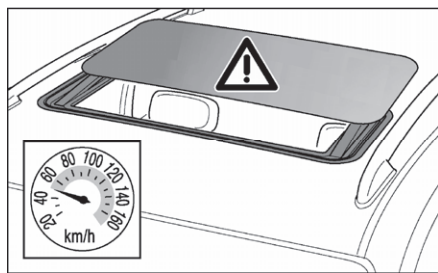
 <p>1</p> <p>0.1 秒</p>	<p>サンルーフが閉じる時……</p>
 <p>2</p>	<p>……パネルが障害物に当たるとサンルーフは自動的に開きます。</p> <p>指など細くて柔らかいものでは機能しませんので、故意に挟まないで下さい。</p> <p>又、スイッチを押し続けている時には機能しません。</p>
 <p>3</p>	<p>障害物が取り除かれると、パネルは再び閉まります。</p> <p>挟み込み防止機能は、イグニッションをオフにしたときでも操作ボタンを押し続けることで解除することが可能です。</p> <p> 車内に子供だけに乗せて車を離れないで下さい。</p>

3. 電動マニュアルタイプおよび電動フルオートタイプについての解説

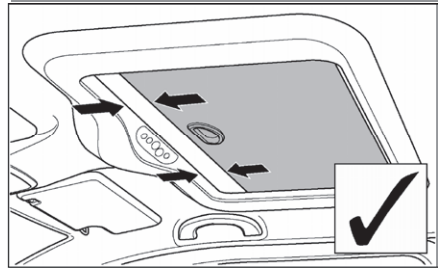
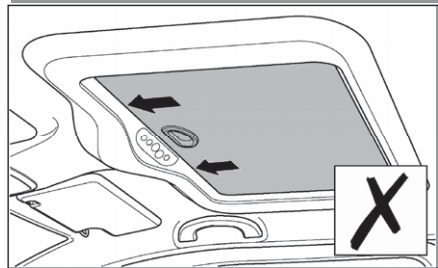
3.1. サンシェードの操作



サンシェードは、どの位置にも動かさず。



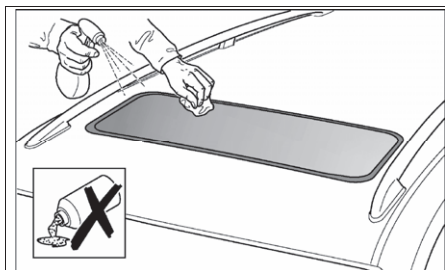
車速 50km/h 以上でサンルーフを開けているときにサンシェードを完全に閉じないで下さい(振動します)。3cm 以上の隙間を開けておいて下さい。



3.2. 注意事項

	<p> 雨が降っているときはサンルーフを開けないで下さい。</p> <p>又、降雪時、厳冬期などサンルーフ及び周囲が凍結することがあります。このような場合は絶対に作動させないで下さい。</p>
	<p>降雨後又は洗車後等は、ガラスパネルを乾燥させるために5分間以上走行してからサンルーフを開きます。</p> <p>洗車の際、サンルーフへ直接高压で水を掛けしないで下さい。</p> <p>(高压洗車機等は使用しないで下さい)</p>
	<p>ガラスパネルから雨粒がなくなったらサンルーフを開くことができます。</p>
	<p> 身体の一部をサンルーフから出さないで下さい。</p>
	<p> ルーフラックに注意して下さい。</p>

3.3. メンテナンス

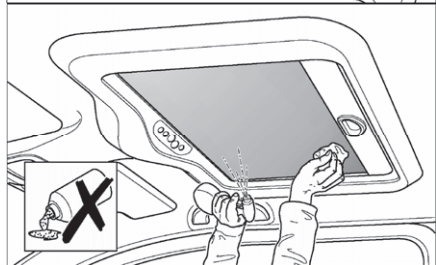


ガラスパネルはガラスクリーナーで掃除します。

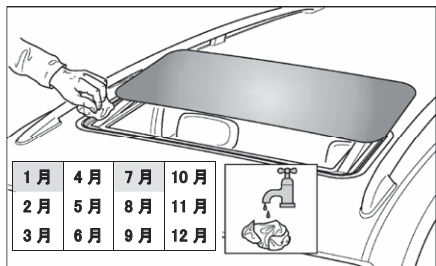
 研磨剤は使用しないで下さい。

サンルーフユニットの汚れをとるのに、シンナー、ベンジン等は使用しないで下さい。

サンルーフユニットの色が変色したり、ヒビ割れの原因になります。



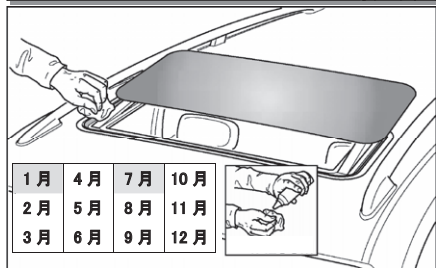
お手入れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めて水拭きして下さい。

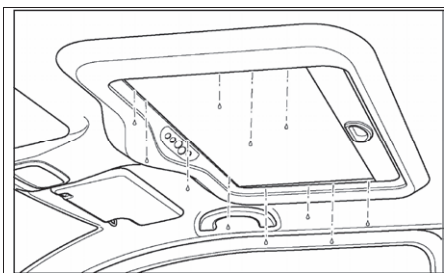


ラバーシールは、少なくとも半年ごとに水を含ませた布できれいにして下さい。

ラバーの柔軟性を保つため、シリコングリスをラバーシールに塗付します。

 その他のグリスやオイルは使用しないで下さい。

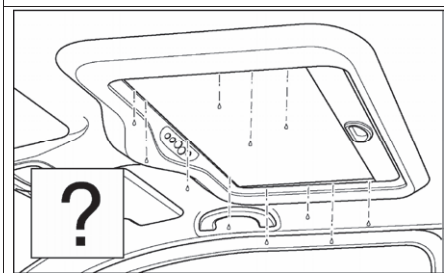
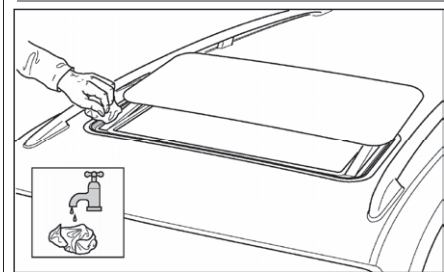




サンルーフが雨漏りするときは、ラバーシールを点検して下さい。

水を含ませた布でシールをきれいにします。

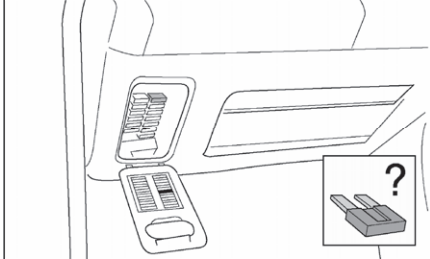
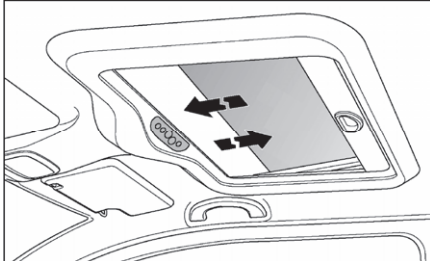


シリコングリスを塗付します。



それでもサンルーフが雨漏りする場合は、近くのWebasto 製品取扱店に点検・修理を依頼して下さい。



3.4. 故障(電動式サンルーフ)

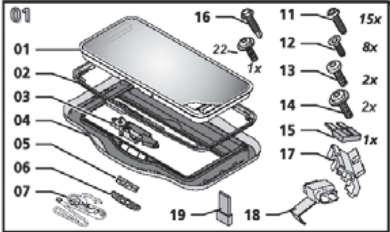
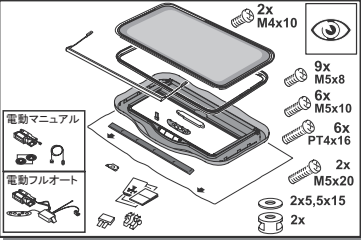

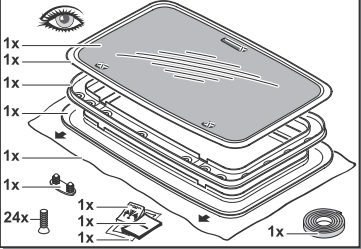
	<p>サンルーフがまったく動かない場合は、ヒューズを点検して下さい。</p>
	<p>サンルーフが正常に作動しない場合は、サンルーフを再プログラミングします(2.1章を参照)。</p>
	<p>サンルーフが正常に作動するか再び確認します。</p>
	<p>それでもサンルーフが正常に作動しない場合は、近くのWebasto 製品取扱店に点検・修理を依頼して下さい。</p> <div data-bbox="848 1254 943 1350"></div> <p data-bbox="796 1358 1009 1398">後付サンルーフポータルサイト 後付サンルーフ携帯サイト</p>

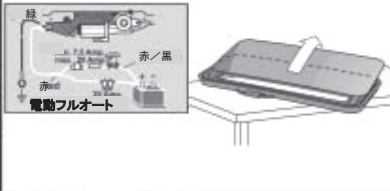



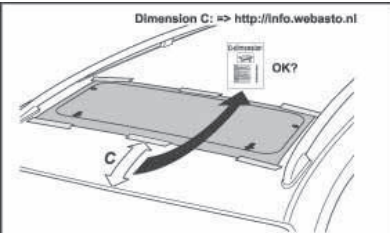

取り付け説明書

サンルーフの取り付け

取り付け対象製品の記号解説口

記号	取り付け対象製品	開始ページ
	Hollandia 100 DeLuxe	13
	Hollandia 300 DeLuxe Medium	13
	Hollandia 300 DeLuxe Large	13
	電動フルオートタイプ	13
	トリムシエル巻き込み仕上げ	30

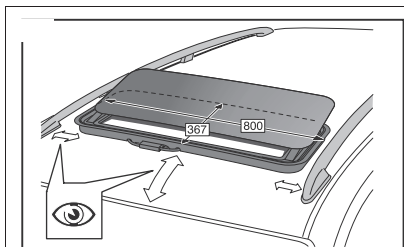
(イラスト)	作業内容	取り付け対象製品
 <p>01 02 03 04 05 06 07 11 12 13 14 15 16 17 18 19 22</p> <p>15x 8x 2x 1x</p> <p>Medium</p>	 <p>2x M4x10 9x M5x8 6x M5x10 6x PT4x16 2x M5x20 2x5,5x15 2x</p> <p>電動マニュアル 電動フルオート</p> <p>Large</p>	 <p>Medium</p> <p>Large</p> <p>100 DL</p>
<p>すべての部品が同梱されていること、および、作業場に必要ない工具がすべて揃っていることを確認して下さい。</p>	 <p>1x 1x 1x 1x 1x 1x 1x 24x 1x 1x 1x 1x</p> <p>100 DL</p>	

(イラスト)	作業内容	取り付け対象製品
	<p>クランプレームをサンルーフに仮止めし、サンルーフの機構部分と電気系統を検査します。</p>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Large</div>
	<p>サンルーフの調整</p> <p>サンルーフが完全に閉じるまで▼ボタンを押します。ボタンを5秒間以上押します。</p> <p>ルーフを最後部まで完全に開きます(カチッと音がします)。これでSCUが調整されました。</p> <p>サンルーフの機能を確認します(パネルを操作)。</p>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Large</div>
	<p>車両別の取り付け位置などの情報は技術ウェブサイトhttp://www.rarevalue.com/sunroof/を参照下さい。</p> <p>(取付適合車データベース)</p>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Large</div>



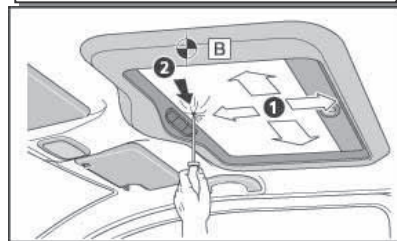
Medium

Large



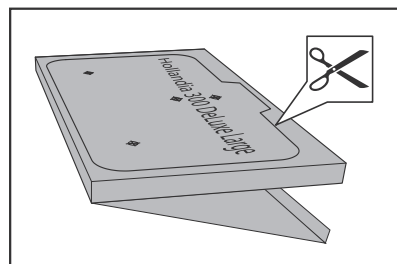
車両の外側を確認します。以下の点を考慮して下さい。

- 車両のルーフの曲率
- ルーフパネルの幅と長さ
- ルーフラックの有無
- ルーフの凹凸の有無



Medium: 車両のヘッドライニングにサンルーフのトリムを押し当て、基準点「B」に印を付けます。

Medium

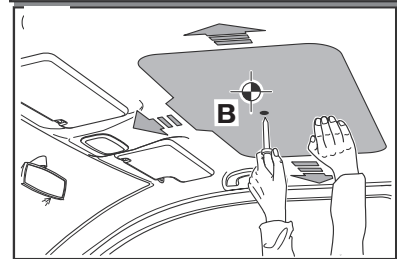


段ボールの型紙を切り取ります。



注意: DeLuxeの段ボールには2つの型紙があります。正しい方の型紙を使うように注意して下さい。

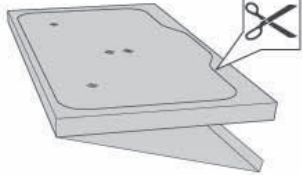

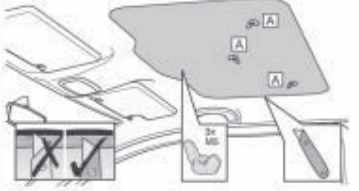

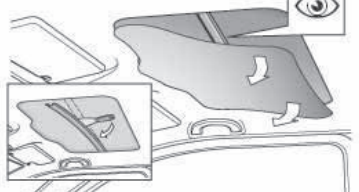

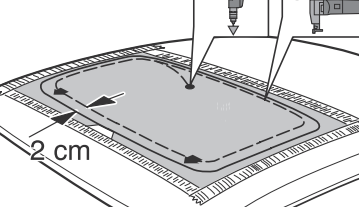

希望する仕上がりに合わせて内側の型紙の位置を合わせます。

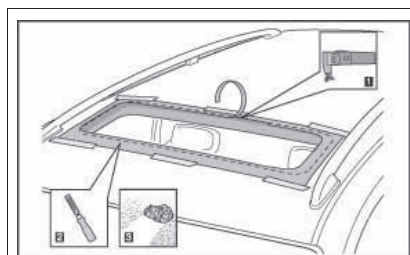


Large: 内側の型紙の基準点「B」に印を付けます。

Large

	<p>クランプフレームを車両のヘッドライニングに押し当てます。キリを使用して基準点Aに印を付けます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">100 DL</div>
<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Large</div> </div>	<p>型紙を置きます。</p> <p>基準点 「B」(H300D-Medium/H300D-Large) 「A」(H100DL)</p> <p>を型紙の対応する点に合わせ、型紙をテープで固定します。</p> <p>Hollandia 300 DeLuxe Medium: $\delta=41\text{mm}$ Hollandia 300 DeLuxe Large: $\delta=235\text{mm}$ Hollandia 100 DeLuxe: $\delta=35\text{mm}$</p>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">Large</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">100 DL</div>
<div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100 DL</div> </div>		
	<p>ルーフパネルとヘッドライニングを貫通する ϕ 5mmの穴を位置「A」(Medium/Large) 「B」(H100DL)に3つ開けます。</p> <p>ϕ : 5mm (H300D) ϕ : 6mm (H100)</p>	<div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">Large</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">100 DL</div>

	<p>段ボールの型紙を切り抜きます。</p>	 <p>Medium 100 DL</p>
	<p>段ボールの型紙をネジでヘッドライニングに仮止めします。 カッターでヘッドライニングを切り抜きます。</p>	 <p>Medium Large 100 DL</p>
	<p>ヘッドライニングを取り外します。 吸音材やルーフ補強材がある場合は取り外します。 車の内側からマスチック材の残りを取り除きます。</p>	 <p>Medium Large 100 DL</p>
	<p>車のルーフに穴を切り抜きます。ルーフの歪みを防ぐために、先ず切り取り線から約2cm内側のを切り抜きます。</p>	 <p>Medium Large 100 DL</p>

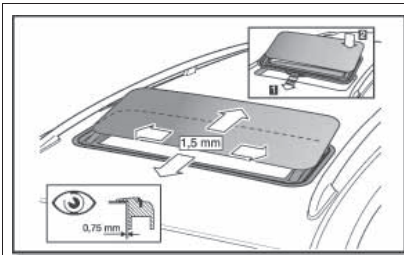


切り取り線に沿って穴を切り抜きます。
開口部のエッジをヤスリで取ります。

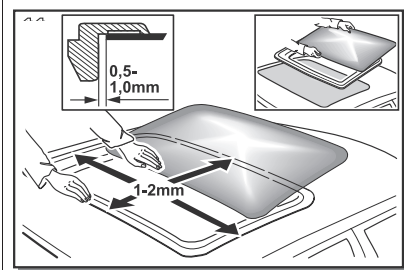


Medium
Large
100 DL

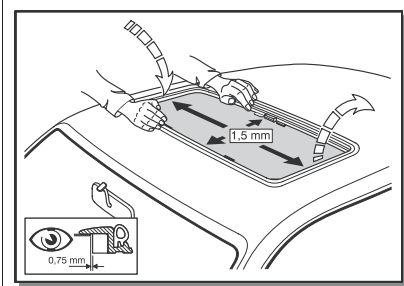
Medium
Large
100 DL



Medium



Large

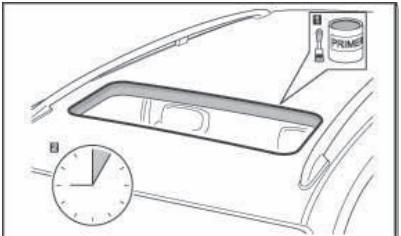

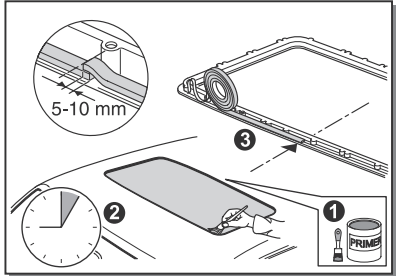
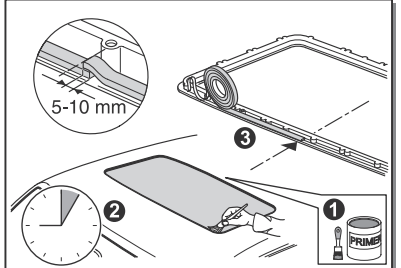



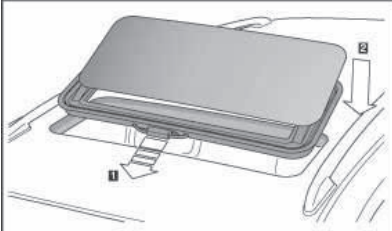

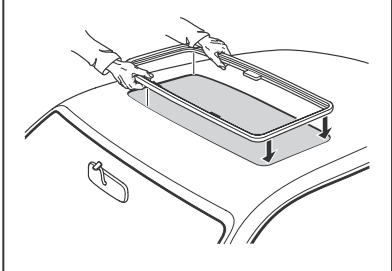
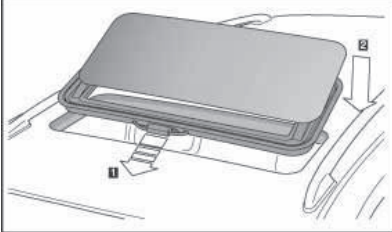


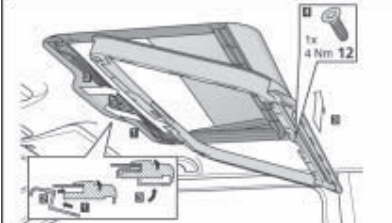

100 DL

アッパーフレームで開口部の寸法を確認します。
 アッパーフレームと開口部の隙間は左図の寸法が必要です。
 (隙間が無いと、作動不良や異音の原因となります)



注意:アッパーフレームに付いているドライシールを傷付けないで下さい。(水漏れの原因)

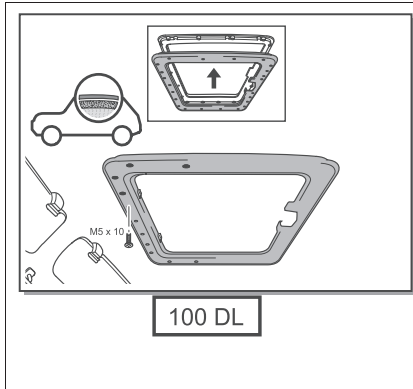
	<p>カットしたエッジ部にさび止めプライマーを塗布します。</p>	 <p>Medium</p> <p>Large</p> <p>100 DL</p>
 <p>100 DL</p>		
	<p>アッパーフレームに同梱のシールテープを貼り付けます。</p>	<p>100 DL</p>
	<p>ドライシールに傷などが無いか、入念に点検します。</p>	 <p>Medium</p> <p>Large</p>

	<p>ルーフの開口部の中にサンルーフを設置します。</p>	 <p>Medium</p> <p>Large</p> <p>100 DL</p>
<p>Medium Large</p> 		<p>100 DL</p>
	<p>後部を持ち上げて、ルーフ開口部内でサンルーフを前方へスライドさせます。後部を下ろします。</p> <p> 注意: アッパーフレームに付いているドライシールを傷付けないで下さい。(水漏れの原因)</p>	 <p>Medium</p> <p>Large</p>
	<p>クランプフレームを45度の角度で保持します。アッパーフレーム上にクランプフレームの前部を引っ掛けます。後部を押し上げます。クランプフレームを保持するために後部中央のネジを取り付けます。クランプフレームのノッチをアッパーフレーム中心の突起部に合わせます。</p>	 <p>Medium</p>

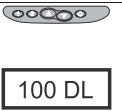
	<p>クランプフレーム取り付け。</p>	<p>Medium</p>
	<p>最初に黒いネジを取り付けます。 次に銀色のネジを中央から取り付けます。</p>	<p>Medium</p>
		<p>Medium</p> <p>Large</p>
<p>Medium</p> <p>電気系の配線を取り付けます。 赤色の配線： 常時電源 赤／黒の配線： アクセサリ電源 緑色の配線： マイナスボディアース</p>	<p>Large</p>	

	<p>モーターを設置します。 ボルトを仮締めします。</p>	<p>Medium</p>
	<p>モーターの軸をギヤの方へ押し上げ、ボルトを締め付けます。</p>	<p>Medium</p>
	<p>コントローラーに雨滴感知センサーを接続します。 (オプション設定)</p>	<p>Medium</p> <p>Large</p>
	<p>雨滴感知センサーの位置を、フロントガラス内側か、リアガラス内側に決めます。このセンサーをスポイラーやステッカーなどの陰になる部分、またはプライバシーガラスなどの感知し難いガラスに取り付けしないで下さい。また、最適動作(反応時間)のために、可能な限り水平にセンサーを取り付けます。</p> <p>ガラス貼付面をクリーナーなどで掃除し、保護箔を剥がして雨滴感知センサーを取り付けます。配線はヘッドライニングの裏などにテープで留めます。</p>	<p>Medium</p> <p>Large</p>

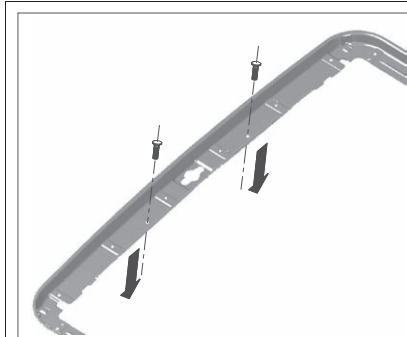
	<p>コントロールボタンの周りにペロアラベルを貼り付けます。</p> <p>ハードトリムサンルーフの場合、延長バー(19)を取り付けます。</p>	<p>Medium</p>
	<p>固定ブラケットがモーターの中央に取り付けてあるかどうかを確認します。</p>	<p>Medium</p>
	<p>サンルーフのトリムシェルを取り付けます。図のように取り付け部が“カチッ”となるまで押し込みます。</p> <p>トリムシェルの前側中心にある取り付け部と、フレーム側の固定ブラケットの中に収まっているかを確認します。</p> <p>トリムシェルのネジ(2本)を取り付けます。</p> <p>コントロールカバーを取り付けます。</p>	<p>Medium</p>



クランプフレームをアッパーフレームに合わせ、クランプフレームをネジで取り付けます。

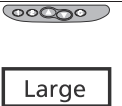


100 DL

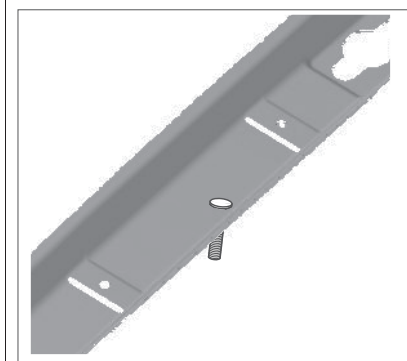


クランプフレームの前方の穴にビス (M5×15) を2本差し込みます。

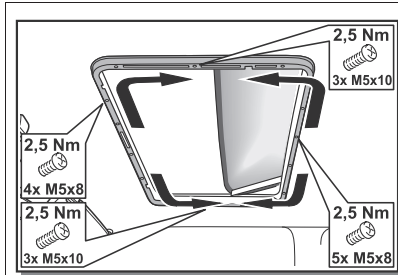
方向: 天井から下に向けて



Large



クランプフレームを固定する前に作業してください。

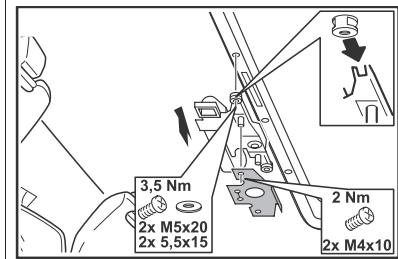


重要: 図のようにネジを締め付けます。

前部と後部に黄色のネジ(M5X8)を取り付けます。両サイドに黒いネジ(M5X10)を取り付けます。



Large



モーターおよびモーターブラケットの取り付け

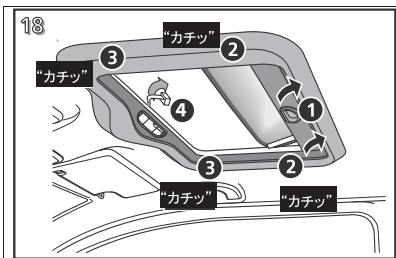
ディスタンスホルダー2枚を取り付けます。

モーターを取り付けます(M5X20ネジ2本、5.5X15ワッシャー2個)

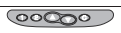
モーターブラケットを取り付けます(M4X10ネジ2本)。



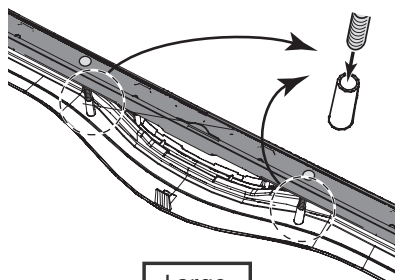
Large



トリムシェルを取り付けます。

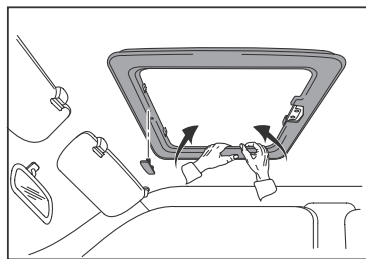


Large
100 DL



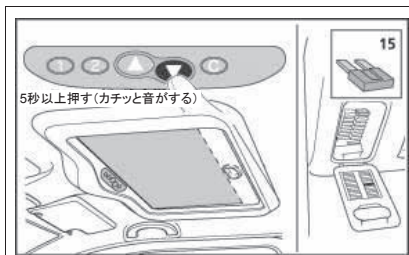
Large

クランプフレーム前方に入れたビス(M5×15)
2本がトリムシェルの前方の穴の位置となり
ます。

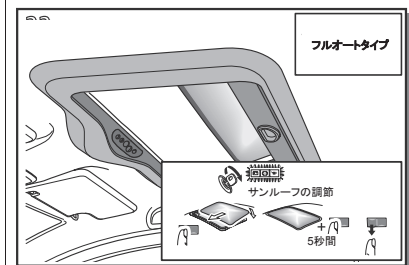


100 DL

	<p>① フラットケーブルを操作パネルとサンルーフコントロールユニットに接続します。</p> <p>② 操作パネルをトリムシェルに取り付けます。ネジを締め付けます。</p> <p>③④ トリムシェルの前部をカチッと音がするまで押し込み、固定します。</p> <p>スイッチアッシーを接続します。</p> <p>スイッチアッシーをトリムシェル前部に通して引き出します。</p> <p>操作パネルをスイッチアッシーに取り付けます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Large</div>
	<p>トリムシェルにコントロールパネルを取り付けます (カチッと音がします)。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Large</div>
	<p>トリムシェルのフロントカバーを取り付けます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">Large</div>



Medium



Large

ヒューズを取り付けます。

コントローラーのサンルーフの初期設定

(取扱説明書 2.1 参照)

サンルーフが完全に閉じるまで▼ボタンを押し続けます。停止後もボタンを5秒間以上押します。

カチッと音がして、ルーフが最後部まで完全に開きます。

これでコントローラーの設定がされました。

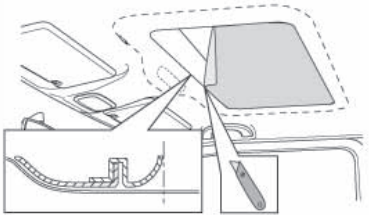


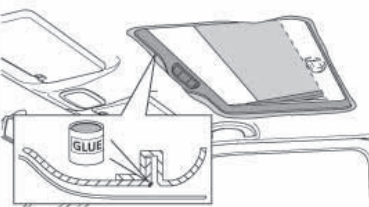


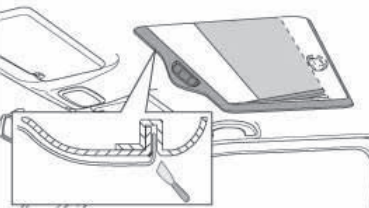
サンルーフの開閉動作に異常が無い確認します。

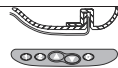
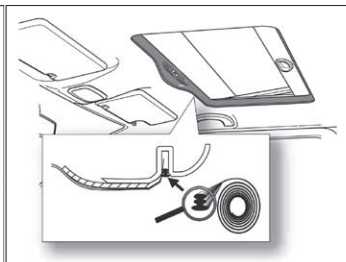
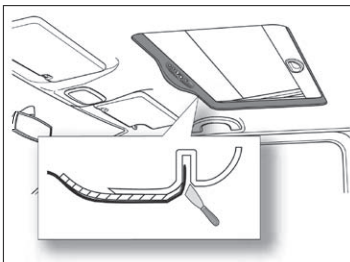
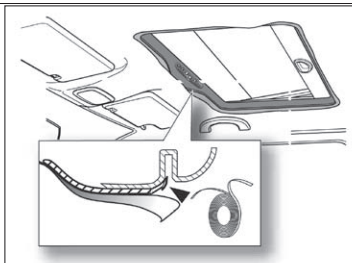
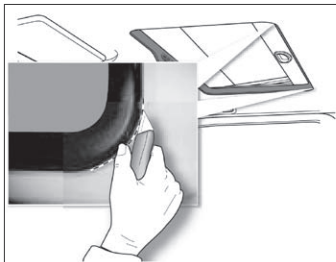


Medium

Large

トリムシエル巻込み仕上げ

	<p>トリムシエルがサンバイザーや室内灯などと干渉する場合は、トリムシエルのフレキシブルウォーターリップを取り除きます。</p> <p>車内にソフトヘッドライニングを取り付けます。</p> <p>トリムシエルの内側に沿って、ヘッドライニングに開口部を切り抜きます。</p>	  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px;">Large</div>
	<p>接着剤によるソフトラップ</p> <p>ヘッドライニングとトリムシエルに接着剤を塗布します。</p> <p>ヘッドライニングを引き伸ばします。</p> <p>角の丸いヘラを使用し、トリムシエルの溝にヘッドライニングを押し込みます。</p>	  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px;">Medium</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px;">Large</div>
		



Medium

Large

接着剤を用いないソフトラップ:「フィニッシュプロフィール」(番号33S3MR0020)

トリムシェル後部の曲線をカットします。溝はサイドと同じくらい深くなければなりません。

トリムシェルの所定の位置(図)に両面テープを貼り付けます。

角の丸いヘラを使用し、トリムシェルの溝にヘッドライニングを押し込みます。必要に応じてヘッドライニングをカットします。

トリムプロフィールを運転席側から溝に押し込みます。フィニッシュプロフィールを慎重に引き伸ばします。

<保証とアフターサービス>

サンルーフの修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は・・・
お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管して下さい。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

お買い上げの販売店へご相談ください。
水漏れなどは、テストによって確認させていただきますが、現象の確
認が出来ない場合は保証対応できないことがありますので、ご了承
承ってください。

●保証期間中は

保証規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきます
ので、恐れ入りますが本書と保証書をご持参ください。

●保証期間がすぎているときは

ご希望により有料で修理させていただきます。

<保証規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、サンルーフ本体の無料修理をさせていただきます。尚サンルーフ本体以外の保証は出来ませんのでご了承ください。修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に本書と保証書をご提示いただきお申し付けください。
2. 指定の取付け方法、純正部品、部材以外での装着により発生した故障及び損害については、保証の対象となりません。
3. ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 - 1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - 2) 火災、地震、水害、落雷、台風その他天災などによる故障及び損傷
 - 3) 車両のルーフ以外に取付けされた場合の故障及び損傷
 - 4) 保証書の提示がない場合
 - 5) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行しませんので大切に保存して下さい。

<ベバストサンルーフ保証書>

保証書の項目にご記入の上、FAXまたは郵送にてお送りください。
ホームページからもご登録いただけます。

<http://www.rarevalue.com/sunroof/> (ユーザー登録)

FAX : 03-3900-7227

保証期間	1年間	プロダクションNo.
商品名		
住所	〒	
ふりがな	-----	男
氏名		才女
職業		
TEL		
e-mail		
HP		
販売店又は取付者記入欄		
取付年月日	年	月 日
取付車種	車名	型式 年式
取付寸法	ルーフ前端から	mm
該当する箇所を○で囲んで下さい		
クロスメンバーの取外し	不要	必要 移設
ルームランプの取外し	不要	必要 移設
その他	ハードメンバー車	ビード有り 巻込仕上
コメント		
販売店又は取付者署名		印

